

小学校 花き生産部会と行政・小学校が連携した花に関する学習

作成者：上伊那農業協同組合 笠原 賢司

- 対象者・人数：花束贈呈 小学生3,920名
花に関する授業 3年生679名
- 所要時間：搬入～花束贈呈 45分
花に関する授業 45分
- 対象場所：伊那市内小学校 15校
- 指導者・アシスタント人数：3～7名



実施概要

行政、JA生産部会、JAが連携し、伊那市内小学校全校において全児童に地元産の切り花を贈呈。3年生を対象に花の生産から流通・販売の流れや花を飾る意義、切り花の楽しみ方についての授業を行う。

■ 花材：アルストロメリア

JA生産部会の取り組みとして切り花の品目は限定しないが、当地区はアルストロメリアの生産量日本一であること、実施時期がアルストロメリアの出荷最盛期であることから使用



■ 指導内容と目的

【行政、JA、生産部会の代表者から児童へ地元産切り花プレゼント（花束贈呈式）】

- ・切り花が地域の特産であることへ理解を深める
- ・家庭に切り花を持ち帰ることで花のある生活空間を作り、花を通じて家族との会話の機会を作る
- ・水替えや切り戻しなど花の管理、また、最終的に枯れることまでを通じて生命の大切さを知る機会を作る

【地元の農業と花の生産、使われ方を学ぶ授業（花育授業）】

- ・地域で生産される切り花について
- ・職業としての農業について
- ・生活の中で花がどのように使われるかの紹介
- ・花の流通についての学習
- ・地元地域が国内有数の花き生産地域であることを通じ、地元への誇りを高める

■ 対象者への配慮

- ・水替えや切り戻しなどの切り花管理を行うことで、より長く楽しむことを周知する
- ・ハサミなどの刃物には十分に注意するよう周知する
- ・水から離す期間が長くないよう、持ち帰りの際に注意するよう周知する

1. 指導計画

◆平成27年実施スケジュール

- ・5月13日（水）実施4校 児童1,146名 3年生187名
- ・5月20日（水）実施3校 児童 825名 3年生133名
- ・5月27日（水）実施5校 児童 729名 3年生129名
- ・6月3日（水）実施3校 児童1,220名 3年生230名

2. 事前の準備

◆対応者の決定

- ・贈呈式
 - ・行政、JA代表者で花育についての内容説明などを行う
 - ・行政の代表者、JA地区理事などで対応
- ・花育授業
 - ・生産者の仕事や思いを直接伝える意味合いから、切り花生産者が対応
 - ・若手生産者を中心に対応を行う

◆実施内容の確認

- ・資料の作成
- ・教育カリキュラムに則り資料の作成を行い、学校関係者にて閲覧を行う
- ・授業は3年生を対象に行うため、内容だけではなく学習漢字についてもチェックを行い、必要に応じてルビを振るなど資料の作成を行う
- ・対応者で配布資料の読み合わせを行い、ことばの使い方や内容の統一を図る

◆各小学校との打ち合わせ

- ・実施2週間前までを目安に学校代表者・学年主任および対応者で行う
- ・実施スケジュール、時間配分および実施内容について確認
- ・各校の指導方針にあわせたアレンジを加える

◆贈呈束の作成準備

- ・贈呈束（アルストロメリア切り花2本束）は切り花生産者により加工を行うため、実施2週間前を目安に出荷スケジュールおよび作成束数の配分・依頼を行う
- ・実施前日に花束の集荷を行いクラスごとに贈呈束数を配分、パッキングを行う

3. 当日の流れ

◆実施スケジュール（一例）

【花束贈呈式】

AM7：50 贈呈花束搬入

小学校講堂、体育館等へクラスごと配分した花束を搬入

AM8：00 関係者集合

AM8：25 花束贈呈式（全校朝会にあわせて）

- ・開会のことば
- ・学校長あいさつ
- ・市長あいさつ
- ・JA代表者あいさつ JA理事・役員
- ・花の管理方法について説明
- ・花束贈呈 児童代表者へ
- ・お礼のことば 児童代表者より（～AM8：40）



【写真】花束贈呈式

市長のあいさつ（全校朝礼）

- ・市内の花の生産について
- ・花を贈る目的について
- ・市に誇りを持ってほしいこと
など



【写真】花束贈呈式

行政、JA、生産部会代表者から児童代表者へ地域特産の花束を贈呈

AM8:55 花育授業

- ・若手生産者より花について資料（P.100参照）を用いた授業
- ・授業1コマ（45分）程度行う（学校により多少の変動あり）
- ・学校により内容にアレンジを加える

（例）・植物の種、苗を用いた説明

- ・花壇やプランターに植物を植える
- ・近隣の生産者・圃場を訪問する など



資料に沿った説明

ほとんどの学校で多くの質問が寄せられるため、質疑に多くの時間を費やすことが多い



実物を用いた説明

切り花を未処理の状態で購入し、植物本来の姿を見せることで子どもたちの探究心を引き出す



実物の苗を間近に観察することで、植物の成長過程を知る機会を生み出す



実物の苗を間近に観察することで、植物の成長過程を知る機会を生み出す



校外授業

苗を植えることで、植物が育つ様子を観察する機会を作る

(学校により対応可否あり)

近隣生産者圃場を訪問し、実際の生産現場を見学してもらう

(学校と圃場が近い場合に実施。また、後日課外授業として実施する学校もある)



【その他の実施例】

- ・ 圃場で収穫体験
- ・ お礼として給食交流会にお招きいただく・・・など

※学校の規模や立地条件に合わせ可能な対応が異なるが、学校側からの要望に応じそれぞれ対応を行う。

【当日の配布資料】花の生産・流通・農家の仕事・花の使い方・・・など

平成27年度伊那市花育事業

はな い な はな
くらしと花 <伊那の花>



【アルストロメリア】 上伊那で日本一たくさん作られています。
(へいせい26年度 1,300万本)

わたしたちの住む伊那市では、のうぎょうがさかんです。お米、野菜、くだもの、きのこなど、たくさん食べものが作られています。お花もさかんに作られています。み近でどんなお花が作られているか学びましょう。

【アルストロメリア】

- ☆色がたくさんあります。
- ☆長く楽しめるお花です。
- ☆あつきせつがいが手です。
- ☆オランダで新しい色を作っています。

【トルコギキョウ】

- ☆いろいろな色や形の花があります。
- ☆あつきに強い夏の花です。
- ☆あつきせつでも長く楽しめます。
- ☆伊那市で新しい色を作っています。




はたけのようす




【トルコギキョウのはたけ】 【アルストロメリアのはたけ】

アルストロメリアやトルコギキョウは、ビニールハウスの中でそだてています。小さなたねからお花をさかせるためには、長い時間がかかります。

花をそだてて うれしいこと

- ☆きれいなお花が、たくさんさくこと
- ☆みんなが「きれいだね」と言ってくれること

花をそだてて たいへんなこと

- ☆虫に食べられること
- ☆水やえいようをあげること

たくさんしゅうかくできた！



この家の人は、きれいなお花をさかせるために、たくさんのごとをしめます。お花に水やえいようをあげるほかに、ストーブをたいり、まどをあけたりして、お花が気持ちのいいおんどになるようにしています。毎日手入れをすることで、きれいなお花をさかせることができます。

また、ビニールハウスのほかにも、




田んぼやはたけで、たくさんのしゅるいのお花をそだてています。

きく ゆり

この家の人がそだてたお花は、くらしの中のいろいろな時につかわれます。

1. プレゼントで気持ちをつたえる

【おいしい】
入学しき、そつぎょうしき、けっこんしき

【おわかれ】
おそうしき、おわかれ会

【そのほか】
すきな人へのこく白 など



2. おそなえをする

わたしたちが生まれてきたのは、むかしの人たちがいたおかげです。

おぼんやおひがんには、おはかにお花をおそなえて、ごせんぞさまにかんしゃの心をあらわしましょう。



3. 家にかざる

きれいなお花をかざると、心が明るく、楽しくなります。

そのため、お花屋さんやスーパーマーケットでお花を買い、家のげんかんやへやにお花をかざります。



このように、くらしの中でさまざまにつかわれるお花は、どのようにわたしたちのところへとどけられるのでしょうか。つぎのページを見てみましょう。

花がわたしたちのところへとどくまで

① はたけでお花がそだてられます。



② 太さや花の数で花をそろえます。



③ はこに入れます。



④ JAにはこんで花をてんけんします。



⑤ トラックで市場へはこびます。



⑥ 市場でお花やさんに売ります(せり)。



⑦ お花屋さんのお店で売られます。



⑧ こうして、わたしたちのところへお花がとどきます。




【花をかざる時のちゅうい】

- ☆太さや花の数がちやくせつ当たらないところにおきましょう。
- ☆毎日、水をかえましょう。お花はきれいな水がたすきです。

お花も、わたしたちと同じ生きものです。大切に、長く楽しんでくださいね！

【当日の資料】 当日現物がないものなどを写真で説明する資料

トルコギキョウの苗



時間と手間をかけ、大きく育てます



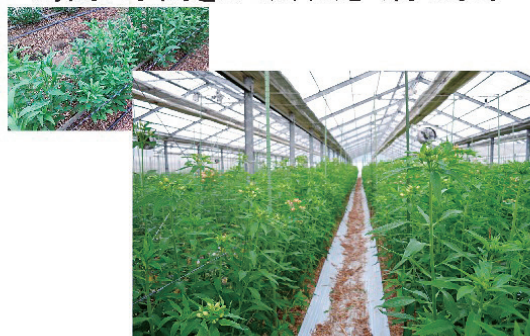
花がさくと、しゅうかくできます



アルストロメリアの苗



時間と手間をかけ、大きく育てます



花がさくと、しゅうかくできます



日本全国の花やさんで売られます



■ 参加者からの意見・感想

【児童からの質疑および応答】 花育授業中に寄せられた質問事項より抜粋

◆ 植物について

- ・ つぼみが咲くまでに何日かかる？
→ 気温が高いと早く、低いと遅くなるが、夏なら1週間くらいで咲きます。
- ・ アルストロメリアとトルコギキョウは何が違う？
→ アルストロメリアは何本も花が咲き、トルコギキョウは1本しか咲きません。
- ・ 花は何種類あるのか？
→ 地域で作るアルストロメリアは150種類、トルコギキョウは50種類くらい、花屋さんの花は数えきれないくらい種類があります。
- ・ アルストロメリアはどんな色が多いのか？
→ たくさんありますが、ピンクや白などみんなが欲しがると色をたくさん作ります。
- ・ 種をまいてから何日にで花が咲く？
→ トルコギキョウは種をまいてから150日くらいかかります。
- ・ 真ん中から飛び出ているものはなに？
→ おしべとめしべです。合わさることで種ができます。
- ・ アルストロメリアは種ができるか？
→ もともとは種ができるが、今の品種は改良されてできないようになっています。

◆ 花の飾り方について

- ・ 水を替えなければいけないのはなぜか？
→ 部屋の掃除と同じように水の掃除をしないとゴミ（雑菌）が溜まってしまいます。
- ・ お花にあげてはいけないものは？
→ 熱いお湯やジュースは喜びません。新鮮なお水が大好きです。
- ・ 切り花を逆さに持つのはなぜ？
→ 持ちやすく、お花を傷めないためです。

◆生産者の職業について

- ・なんで花農家になったのか？
→いろいろな職業の一つとして、自分に合っていると
感じたからです。



たくさんの質問が寄せられる

【各校よりの意見集約（アンケート方式）】対象15校教諭へのアンケートより抜粋

◆花束贈呈式について

◇贈呈式の時間配分 適当 15校 不適當 0校

- ・全校で聞くには15分程度が適切。
- ・子どもたちにわかりやすい話だった。
- ・お礼を伝える面から学校長の話は最後が良かったと思われる。

◇花束贈呈式の内容 適当 15校 不適當 0校

- ・贈呈式の趣旨をわかりやすく子どもにお話しいただいたり、お花の扱いを丁寧に教えていただきありがたかった。
- ・全校で生産者の話を短時間でも聞いて良かった。
- ・あたたかい内容でよかった。
- ・花を長持ちさせる内容などを教えていただきありがたかった。

◆花育授業について

◇授業の時間について 短い 0校 適当 14校 長い 1校

- ・生産者から直接思いや工夫、苦勞を聞いて良かった。
- ・質問の時間をもう少し確保できると良かった。
- ・質問が多く、時間を取ってしまった。
- ・充実していた。
- ・3年生にはやや長いと感じた。

◇授業内容は3年生に適していたか 簡単 0校 適当 14校 難しい 1校

- ・授業をきっかけに生産者との交流が生まれ、良い学びの機会になった。
- ・写真を回してみたが、大型ディスプレイなどに投影できればよかった。
- ・身近なものの説明でわかりやすかった。
- ・農家の仕事を知る面で、ちょうど3年生の社会科の学習とつながった。
- ・写真やクイズなど、飽きない内容でよかった。

- ・多くの質問に答えていただき良かったと思う。
- ・学習の意欲が高まりました。
- ・3年生で市の産業について学習するので、一つのきっかけとなった。
- ・商品としての「花」の話を聞いて良かった。

◆贈呈花束について

◇全校児童に一人一束の持ち帰り束について 適当 15校 不適當 0校

- ・とても大切に持ち帰る姿が見られた。
- ・大切に持ち帰り、家庭で話ができそうです。
- ・自分で世話をしている子どもが多く、ありがたい。
- ・家庭にも「花育」が広まるきっかけとなった。
- ・保護者からもうれしいという言葉ももらった。
- ・家族と市が誇る花生産について話ができると思う。
- ・「お母さんにプレゼントする」と大切に持ち帰る姿が見られた。
- ・それぞれの家庭で涼しいところに置いたり、水替えをする姿が見られた。

◆自由意見

- ・花に関する関心が高まった。例年の恒例として行っていただきたい。
- ・トルコギキョウの苗を植えたので、これから大切に育て学習に活かしたい。
- ・切り花だけではなく、子どもたちが時間をかけて育てる苗はありがたい。
- ・ふるさとについて、花について学ぶ良い機会になった。
- ・生産者の話を聞く学習は、地域を支える「人」を学ぶ上で重要と感じる。
- ・水替えの様子など、日記に書く子どもも多く、とても良かった。
- ・子どもたちの興味、関心を育てる良い機会になった。
- ・後日のハウス見学などを約束していただきありがたかった（9月に実施）。
- ・地域に愛着を持ち、将来的に地域に住みたい気持ちを育む人間作りに有益と感じる。

【写真】 お礼の手紙



